



TITLE:

京大広報 No. 70

AUTHOR(S):

京都大学広報委員会

CITATION:

京都大学広報委員会. 京大広報 No. 70. 京大広報 1972, 70: 259-260

ISSUE DATE:

1972-04-07

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/209625>

RIGHT:

京大広報

No. 70

京都大学広報委員会

京都大学総合体育館について

このほど西部構内につくられた総合体育館が開館されることになった。この総合体育館は、京都大学創立70周年記念事業の一つとして、本学先輩および関係者ならびに社会各方面の援助のもとに、8億円の工費をかけて完成したものであって、さる3月9日京都大学創立70周年記念事業後援会から本学に寄贈されたものである。全京大人のスポーツの殿堂として大切に活用してゆきたい。

I 建築概要

起 工 昭和46年1月8日

竣 工 昭和47年3月8日

敷地面積 27,546㎡

(体育館)

建築面積 4,307㎡ 延面積 7,925㎡

構 造 鉄骨鉄筋コンクリート造

地下1階 地上3階

地階 武道場2室、トレーニング室、サブフロアー（卓球、体操、ボクシング、フェンシング）

1階 シャワー室、クラブ控室

2階 メインフロアー（ハンドボール、バスケットボール、バレーボール、バドミントン）

3階 観客席 372席

その他 電気室、機械室、更衣室、倉庫、器具庫、事務室、教官控室、便所等

(付属プール)

構 造 鉄筋コンクリート造

50m プール（公認申請中）

8 コース

水深 1.3m～1.8m

循環浄化装置設置

観客席 330席

その他 更衣室、浴室、シャワー室、控室等

総工費 8億円

(内訳)

体 育 館 7億2,000万円

付属プール 5,300万円

環境整備等 2,700万円

II 使用目的

総合体育館は、本学の行なう体育活動および式典のために使用されることになっている。

1. 体育活動とは、次に掲げるものである。

1) 教養部の体育実技

2) 本学または京都大学体育会もしくは同会に所属する運動部の主催または共催にかかる体育大会

3) 体育会に所属する運動部の課外体育活動

4) 前各号に掲げる以外の本学学生および教職員の体育活動

5) その他学生部長が特に総合体育館の使用を適当と認める体育活動

2. 式典とは、入学宣誓式、卒業式および創立記念式である。

III 使用方法

総合体育館の次に掲げる場所は、教養部の体育実技および体育会の体育活動のほか、別表に掲げる時間に、ひろく本学学生および教職員の体育活動のために開放される予定である。

なお、使用手続等に関する詳細については、学生部厚生掛（体育館内、学内 5381）に照会されたい。

(使用できる場所)

- ・メインフロアー（2階） バレーボール,
バドミントンまたはバスケットボール
- ・サブフロアー（地階） 卓球
- ・付属プール（使用については、目下検討中
である。）

(使用できる曜日および時間)

場 所	月・火	月・金	月～金	土	日曜日・祝日
メインフ ロアー (2階)	午後 2.45～ 5.30 (半面 開放)		午後 0.10～ 0.40 (全面 開放)	午後 0.15～ 2.45 (全面 開放)	あいている 日は使用で きる
サブフロ アー (地階)		午後 3.00～ 5.45 (4台 開放)	午後 0.10～ 0.40 (8台 開放)	午後 0.15～ 2.45 (4台 開放)	あいている 日は使用で きる

なお、使用できる日は、4月12日以降の予定である。

(学生部)

**国立の学校における授業料その他の
費用に関する省令の一部を改正する
省令（昭和47年文部省令第13号）の
公布・施行について**

さる4月1日付けで、国立の学校における授業料等の額について改訂を行なう省令が公布・施行された。

この改訂で本学に関係があるものは、次の表のとおりである。

区 分	授業料・研究料		入 学 料		検 定 料	
	新	旧	新	旧	新	旧
学 部	年額 円 36,000	年額 円 12,000	円 12,000	円 4,000	円 5,000	円 3,000
大学院の 研究科	36,000	18,000	12,000	4,000	5,000	3,000

なお、今回の改訂の適用については、次のように取り扱われることになっている。

- (1) 学部学生の授業料・大学院生の研究料の額の改訂は、昭和47年度の入学者から適用されるが、本年度第1期（4月から9月まで）分としてこの4月に納付することとなっている授業料・研究料に限り、改訂前の額を納めればよい。昭和47年3月31日以前の入学者については従来どおりの額による。
- (2) 転学・編入学または再入学した者の授業料・研究料の額については、その者の属する年次の在学者の額と同額とされている。
- (3) 検定料・入学料の額の改訂は、昭和48年度の入学志望者から適用される。

参考 昭和47年度の入学者が本年度に納付する授業料・研究料および入学料の額

区 分	授 業 料・研 究 料			入 学 料
	第1期	第2期	計	
学 部	円 6,000	円 18,000	円 24,000	円 4,000
大学院の研究科	9,000	18,000	27,000	4,000